

アトムリビントック株式会社

第55期通期(平成21年6月期)

決算の概要

平成21年9月



SINCE 1903
ATOM
ATOMLIVINTECH CO.,LTD.

■第55期の取り組みと業績について 経営環境

住宅関連業界は、これまでの制度的要因による新設住宅着工戸数の不振に加え、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機による信用収縮から、マンションならびに不動産流動化事業に関連した大型倒産が頻発するなど、未曾有の環境下での経営を余儀なくされた。



■第55期の取り組みと業績について 経営施策

こうした状況のもと、市場価格の適正化に努めるとともに、販売費および一般管理費の圧縮など、調整かつ管理可能な諸施策を実行しつつ、併せて積極的な商品開発と販売活動を展開。

また、当期は第6次中期経営計画の最終年度にあたることから、次期につながる経営基盤の構築に向け、それぞれの戦略的課題の実現に取り組んだ。



■第55期の取り組みと業績について

業績

経営環境の急変に対し、販管費の圧縮など自助努力に努める一方、積極的な商品開発など、将来を見越して、本来取り組まなければならない諸施策を実行するとともに、売上高総利益率を向上させるべく、懸命の努力を行った。



■第55期の取り組みと業績について 業績

しかし未曾有の市場収縮という事態に直面し、減収減益となった。第6次中期経営計画の最終年度という観点から、第6次中計が目指した「総合インテリア企業」へとステップアップする戦略を推進すべく、必要な投資については、ほぼ計画通り実施。

そのうえで、当期までの財務上のマイナス要因を第7次中計に持ち越さないという観点から、適正な会計処理を行い、特別損失として計上。



■第55期の取り組みと業績について 業績

- 売上高は**70億12百万円**（前年同期比86.3%）
- 営業損失は**1億9百万円**
- 経常損失は**47百万円**

また、特別損失として投資有価証券評価損および商品廃棄損を計上したことに加え、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、

当期純損失は**4億65百万円**となった。



■第55期の取り組みと業績について

商品戦略

- ▶ 「CASARL(カサール)」シリーズの新アイテムとして投入した「カサール・ウォールスタイル」が「2008～2009年グッドデザイン賞」を受賞。商品面での先進性、優位性を市場に印象づけた。
- ▶ ユニバーサルデザインに基づき、安全性を重視したダンパー機構搭載の新型引き戸システムなどを投入し、「快適提案品シリーズ」を強化。
- ▶ 次世代に向けた商品開発を積極的且つ体系的に展開。



■第55期の取り組みと業績について 市場戦略

- ▶ デマンドメーカーにおいて、BtoB市場でのシェア拡大に加え、BtoC市場の立ち上げに向けた基盤づくりを着実に推進。
- ▶ これまで年1回開催してきた「個展」を改編し「秋の内覧会」と「春の新作発表会」の2回開催に切り替え、連続性に留意した商品開発と販売活動の融合を目指した。
- ▶ アトムCSタワーを積極的に活用し、産学協同による商品開発プロジェクトの発表会、各種団体や企業との共催によるセミナー、イベントなどを開催し、新分野・異分野の開拓を図った。



■第55期の取り組みと業績について 情報システム戦略

- ▶ 「受発注システム」が本格稼動し、特に発注業務においては総仕入れ額の約85%をカバーするところまで導入が進んでおり、ほぼ所期の目標を達成。
- ▶ インターネットを介した「オンラインショップ」では、商品アイテムの拡充と強化を図り、お客さまの利便性の向上を目指した取り組みを展開。



■第7次中期経営計画について

- ▶ 柔軟かつ機動的に経営組織を改編することにより経営体制の見直しを進め、経営環境の変動に左右されにくい、時代と市場の変化に即応できる事業基盤の確立を目指す。
- ▶ 「住空間創造企業」としての将来的な展望を視野に入れつつ、既存事業分野におけるノウハウとネットワークを活用することで、既存事業と新規事業のさらなるシナジーを追求。



■第7次中期経営計画について

- ▶ 第7次中計ではこうした経営スタンスを、「厳しい経営環境においても成長を続けるための『伝統と変革の調和的融合』」として掲げ、当社の原点に立ち返り、時代のニーズや消費者行動を先取りして、次世代を担う新製品の開発に取り組む。



■第7次中期経営計画について

- ▶ アトムCSタワーでは、さらなる事業の進化を目指して、新たなライフスタイルの提案に取り組む。当社のコア・コンピュタンスともいえるマーケット・インの発想を強く意識し、消費行動の変化や多様化するニーズへの的確に対応するための情報収集の場として、ほかにはないクリエイティブな機会の創出に努める。



■第7次中期経営計画について

- ▶ アトムCSタワーは日常的なPR、IR活動の拠点としてはもとより、「秋の内覧会」「春の新作発表会」、各種セミナー、ワークショップなどのイベントを展開するスペースとして、ショールームのほかにもヒストリーコーナー、ライブラリー、ギャラリーなど、多様な機能を有している。今後も、皆さまに当社のビジネスや商品についてご理解を深めていただけるよう情報発信を継続。



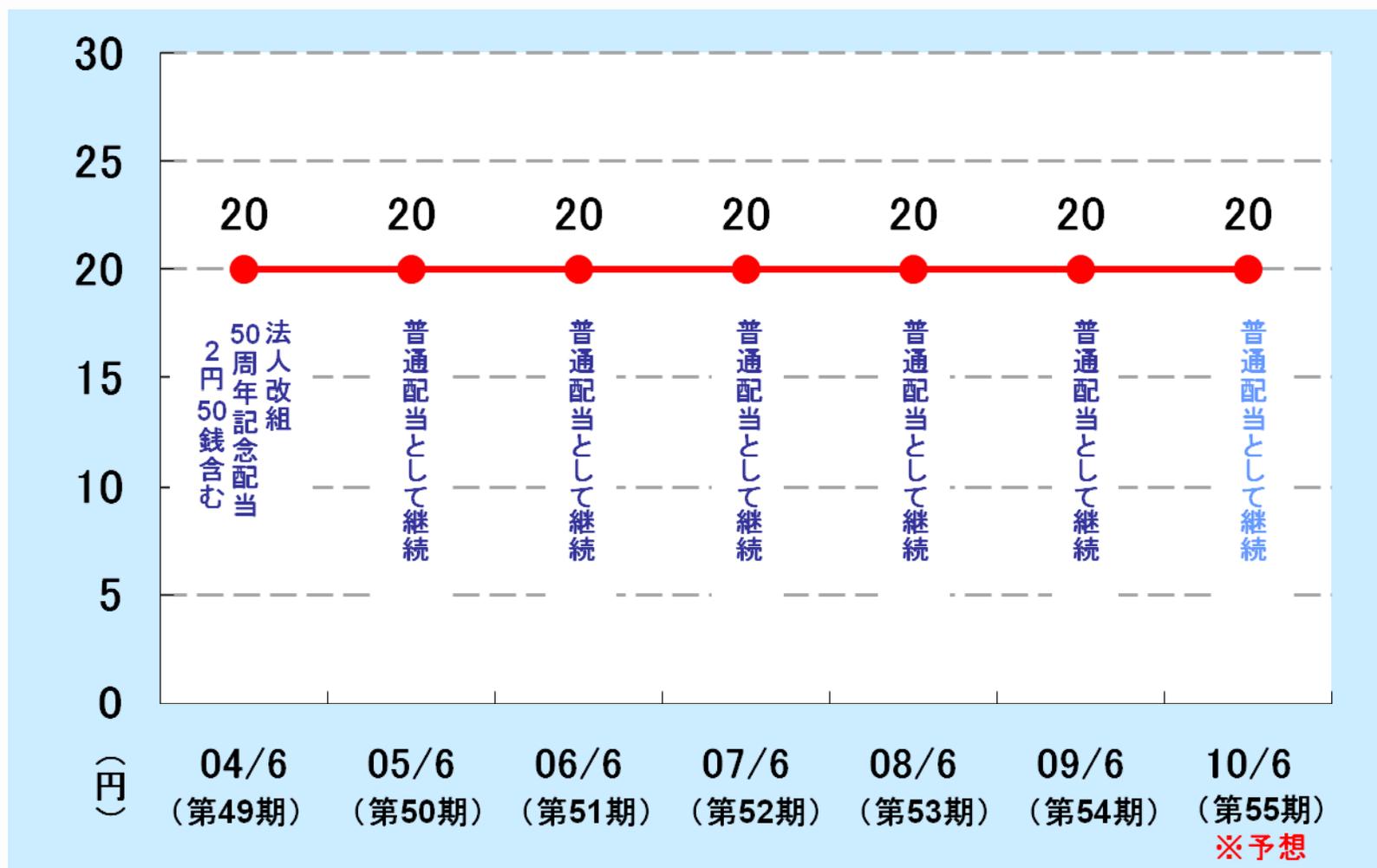
■第7次中期経営計画について

- ▶ マーケティング戦略の一環として、インテリアを切り口としたSNS「インテリアファン」を新たに立ち上げ、インターネットを通じて新たなお客様との接点を持ちつつ、お客様のニーズをくみ取り、最終的にはお客様のナマの声を商品開発に反映させることを目指す。



配当について

■ 配当金の推移



企業概要

SINCE 1903
ATOM
ATOMLIVINTECH CO.,LTD.

商号	アトムリビンテック株式会社 (JASDAQ,3426)
本社所在地	〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL 03-3876-0600(大代表)
設立	1954年10月9日(昭和29年)
代表者	代表取締役社長 高橋 良一
資本金	3億74万円 (平成21年6月期末)
事業内容	家具金物・建具金物・陳列金物など、住まいの金物 (内装金物)全般の企画・開発および販売
従業員数	115名
売上高	70億1,200万円(平成21年6月期)



IRお問合せ先:IR担当 経営企画室

TEL:03-3876-3939

E-Mail:ir@atomlt.com

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生、または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。



住まいの飾り職人

ATOM

ATOMLIVINTECH CO., LTD.